

至 誠



小美玉市立小川南中学校 学校だより
NO. 31 令和2年 1月 7日 発行

教育目標 これからの時代を切り拓く たくましい生徒の育成

キーワード 至 誠 ～ 精一杯 心をこめて ていねいに ～

2020年 子年のスタートです 3学期の始業式を迎えて

おはようございます。新年、明けましておめでとうございます。

令和2年、2020年を迎え、皆さんはどのような目標を立てましたか？

今日から3学期が始まります。1月は新しい年の始まりですが、学校生活では、この3学期は1年間をしめくくる大切な学期となります。一人一人が卒業や進級に向けて目標をもち、その目標の実現に向けて一日一日を大切に過ごすようにして下さい。3年生は卒業式まで今日を入れて66日、1・2年生は修了式まで78日です。また学校に来る日は3年生で45日、1・2年生で52日です。短い3学期ですが、この3学期は次のステップに進むためにとっても大切です。

1年生は1月22日からスキー宿泊学習が始まります。2年生は2月にいばらきっ子郷土検定県大会や小美玉市子ども議会、立志式などがあります。3年生は早速今週には私立高校の推薦入試、来週には一般入試があります。3月には県立高校の入学選抜試験を行い、そして卒業式を迎えます。

新年を迎え、各学年にメッセージをつくりました。

- 1年生 中学校生活を充実させ
活躍する成長の1年に
- 2年生 南中の中心となり
伝統を築く躍進の1年に
- 3年生 卒業を迎え 新たな世界に羽ばたく
飛躍の1年に

最後になりましたが、3年生が66日で小川南中学校を卒業します。1・2年生の皆さんは3年生からたくさんのことを学んだと思います。卒業していく3年生に向けてどのような形で感謝の気持ちを伝えられるかぜひ考えて下さい。そして、3年生に「小川南中学校で卒業できて良かった」と言ってもらえる素晴らしい卒業式を全員で創り上げましょう。

新たな希望と目標を持ち
 至誠く精一杯 心をこめて ていねいに
 一年生 中学校生活を充実させ 活躍する成長の1年に
 二年生 南中の中心となり 伝統を築く躍進の1年に
 三年生 卒業を迎え 新たな世界に羽ばたく飛躍の1年に
 二〇二〇年 子年
 小美玉市立小川南中学校
 職員一同

謹賀新年



十二支と干支って同じなの？

十二支（じゅうにし）と干支（えと）を同じような意味で使っていますが、この2つは別物です。十二支とは「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の総称です。干支とは「干」と「支」が組み合わされた言葉であり、正しくは「十干十二支（じっかんじゅうにし）」と言います。十干は「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の10種類の要素から成り立つものです。十干最初の「甲」と十二支の最初の「子」を組み合わせた「甲子（きのえね）」から最後の「癸亥（みずのとい）」まで、その数は60あります。

高校野球でおなじみの「甲子園」は、球場が完成した1924年が奇しくも十干十二支のそれぞれ最初の「甲」と「子」が60年ぶりに巡り合う年だったため、その縁起の良さにあやかって名付けられたといわれています。

なお、2020年を十干十二支であらわすと「庚子（かのえね）」になります。

